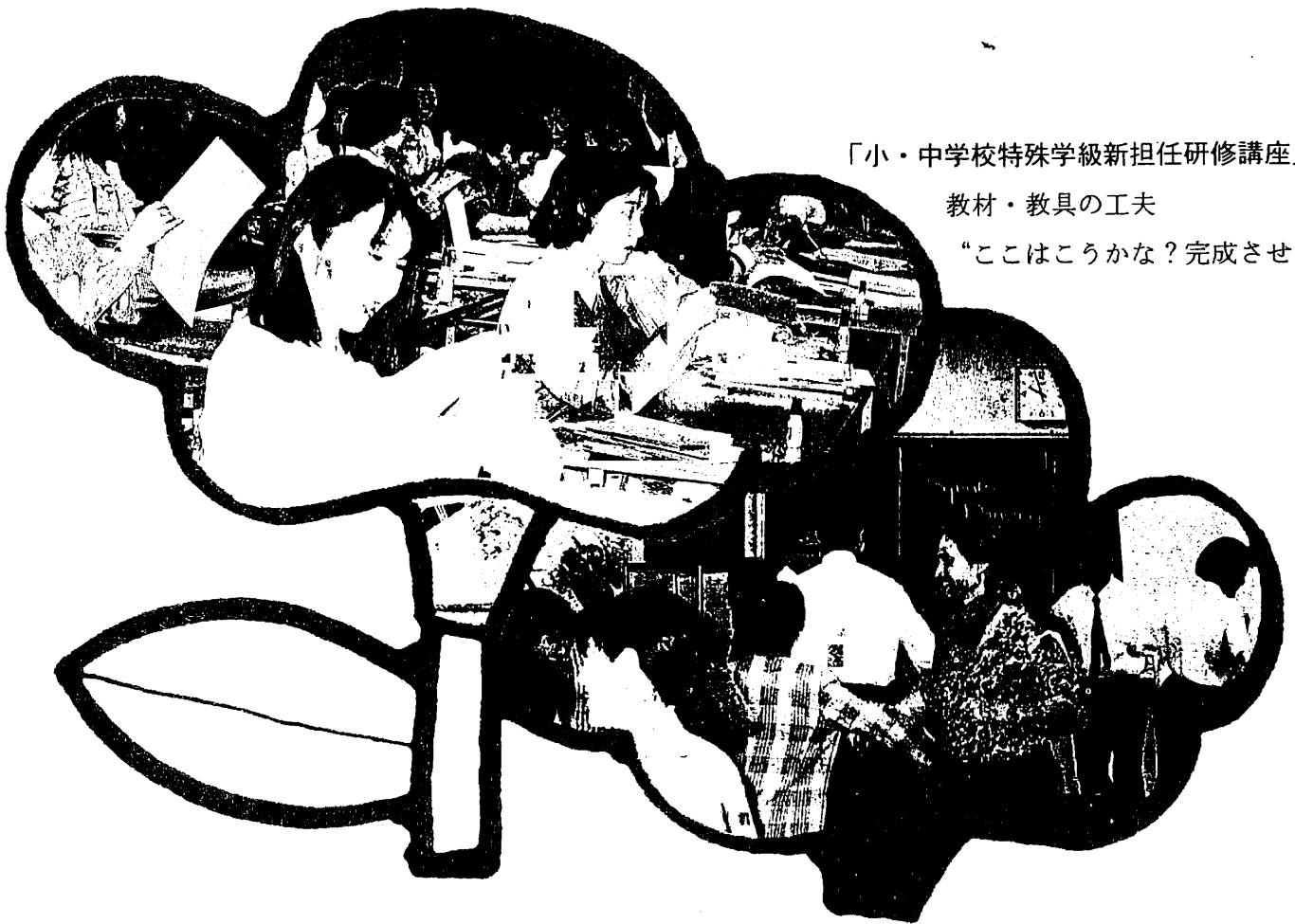


平成6年7月14日



「小・中学校特殊学級新担任研修講座」

教材・教具の工夫

“ここはこうかな？完成させるぞ”

「中学校イングリッシュ・マスター」

各国の文化の紹介 “ダンスはいかがですか”

■ 教育センターだより ■

◇ — も く じ — ◇

- ・今年度の研修講座から……………1
- ・新教育センターの建設構想 その4……………2
- ・平成6年度運営機構……………4
- ・公開講演一覧（9月以降）……………4
- ・どうぞ総合教育センターの御利用を……………折り込み

秋田県教育センター

〒010-14 秋田市仁井田緑町4番2号

TEL 0188(32)3594
0188(33)0959(教育相談)
0188(32)0831(教育相談)

FAX 0188(32)3594

パソコン通信0188(36)3462
ID=120

新教育センターの建設構想 その4

教 科 研 修 部

1 理科実験室

物理・地学実験室と化学・生物実験室の2室ができます。理科担当教員の学習指導法や、観察・実験の技能、教材・教具の製作等について研修を行います。準備室には組織培養や岩石加工の基礎技術を習得できる設備もつくられます。

2 プラネタリウム室

本県特有の気候条件による天体観測上の問題点や、天文学習に対する児童生徒の苦手意識に対応するため、天文関連施設の拡充を図ることにしました。

まず、ドームの直径が8mクラスの操作性に優れたプラネタリウムを設置します。更に、性能のよい屈折式天体望遠鏡を新たに導入し、天体観測法などの研修の充実を図っていきます。

3 電子顕微鏡室

高真空時には20万倍の倍率で観察できる走査型電子顕微鏡を設置します。児童生徒のミクロの世界への関心を高め、微視的な見方や考え方を育てることができるよう、その機能を最大限に利用し

た研修講座の充実を図ります。また、学校では入手しにくい学習情報を提供して教育効果を高めま

4 静止気象衛星「ひまわり」画像受信システム

各学校が、常時パソコン通信によって最新の雲画像を引き出すことができるように気象衛星の画像受信システムを導入します。小・中学校及び高等学校における気象関連の学習では、「ひまわり」の画像が扱われており、引き出した画像と観測データを関連付けながら、気象現象を巨視的に見たり考えたりすることができるようになってい

5 語学演習室

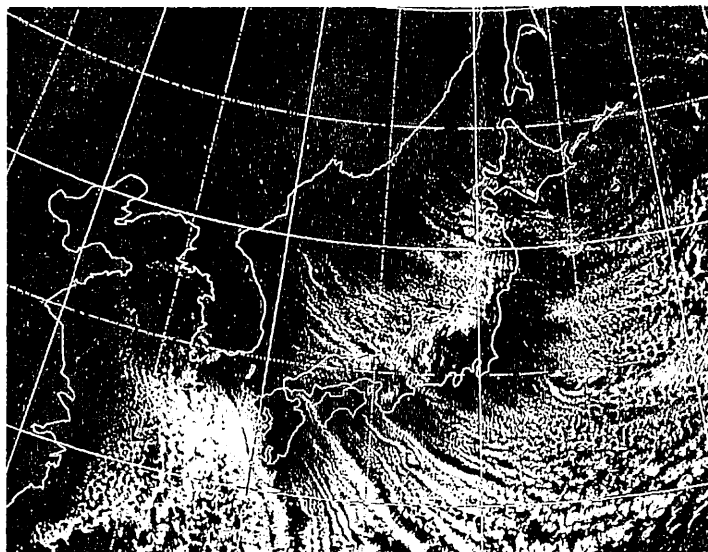
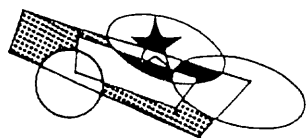
外国語のコミュニケーション能力の向上を図るため、30人用のブースを備えた新時代のLLシステムです。操作は簡単で使いやすく、学習者一人一人にモニターテレビが付き、音と映像の組合せによる聴解練習ができます。また、教育機器技術の研修や教材作成にも利用できます。さらに隣の小研修室とのドッキングにより、ペアやグループでのディスカッションやディベートが可能で、外国人（ALT等）との交流を深めて、国際理解教育を実践する場にもなります。

6 家庭科実習室

被服室、調理室の2室があり、男女共通必修に対応する実験・実習を行うため、施設・設備の充

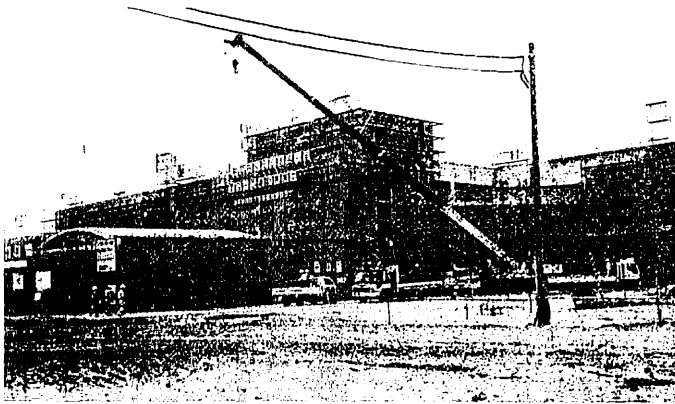
静止気象衛星「ひまわり」の画像

その日の雲画像を画面に表示し、印刷することができます。



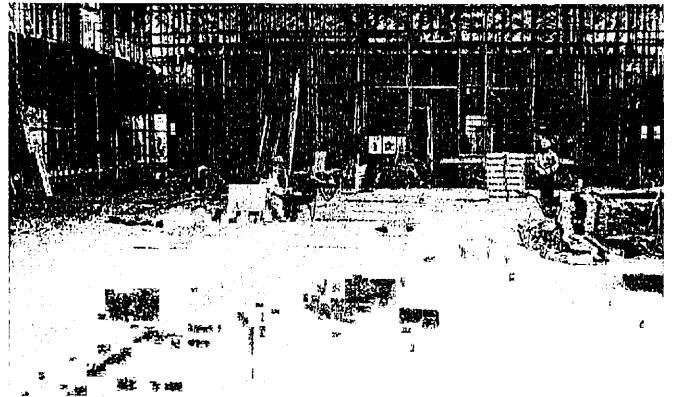
進 む 建 築 工 事

〈写真撮影 6月10日(金)〉



大研修室（アーチ型屋根）前

写真中央の屋上には、プラネタリウムが設置されます。7月末には、全体の60%の工事が進捗する予定です。



体 育 館 内 部

体育館は、現在、壁面工事中です。8月末には床張りが完了します。シャワールーム、ミーティングルームも含め体育館は9月には完成予定です。

実が図られています。各室とも4台の実習台、給湯設備を備えるほか、調理室には実習教示ミラーや電磁調理器を入れ、多人数が効率的に調理技術を習得できるようになっています。被服室は被服のほか、住居、保育、家庭経営に関する実験・実習が能率的に進められるようになっています。

7 技術実習室

技術・家庭科担当教員の指導力向上のため木材加工、金属加工、電気、機械領域の実験や実習を行う部屋です。

従来の実験装置や機械に加えて、万能材料試験機（木材、金属の強度を調べるための実験装置）、CNCフライス盤（コンピュータで制御できる工作機械）などを導入し、多様な実験・実習に対応できるように設備の充実を図りました。また、作業がしやすく、安全性が確保できるように、ゆとりあるスペースにしています。

8 美術室

現センターの美術室での研修は、部屋の大きさから20名が限度ですが、新センターでは2倍の40名まで入れるようになります。広くゆとりとした美術室で研修ができます。

さまざまな材料を使った実技研修に対処できる

ように、糸のこ機械の大幅な増設、バンドソウやベルトサンダー等の大型電動工具、陶芸用電気窯や電動ロクロ等をそろえ、図画工作・美術の全分野の研修を行います。

9 音楽研修室

現センターの音楽研修室は、音楽室と準備室の2室ですが、新センターでは、2つのアンサンブル室と楽器室を加え、5室となります。

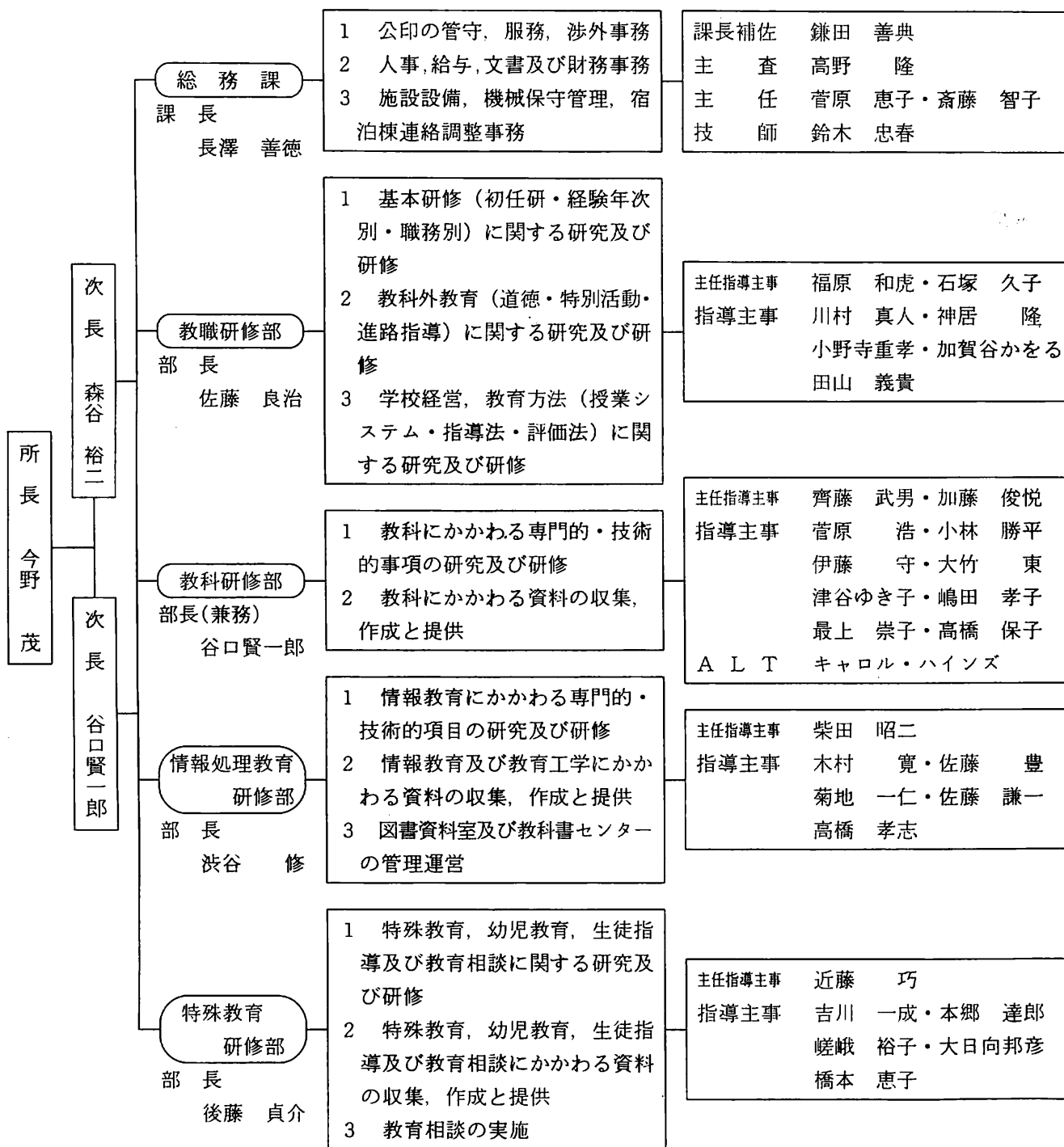
音楽室は現在より広く、合唱や合奏、身体表現や即興表現などの多様な活動ができるようになります。アンサンブル室は10人くらいの少人数による合奏や実技研修が行えます。どちらの部屋にも音響効果のための工夫があり、防音装置などの配慮もなされています。

10 体育館・多目的グラウンド

これまで県立スポーツ会館等で行われることが多かった体育の研修も、他教科同様、新センターで行えるようになります。アリーナはバスケットボール、バレーボールとも正式なコートは一面ですが、練習は2面とることができます。

また、多目的グラウンドもでき、屋内外の体育研修ができるようになります。

平成6年度 運営 機構



公開講演一覽

(9月以降)

月日(曜日)	時刻	演題	所属・職名	講師	会場
9月28日(水)	14:40~16:00	一人一人を生かす 学習指導と評価	東京学芸大学 教授	児島 邦宏	生涯学習 センター
11月1日(火)	12:45~14:30	自ら学ぶ児童生徒を 育てる学習指導	お茶の水女子 大学 教授	宮原 修	生涯学習 センター